

○ 北野正徳 (30分)

【一問一答方式 (1回目から)】

1 地域包括ケアシステムの構築について問う

本市においては老人福祉計画・第7期介護保険事業計画が策定され、「地域包括ケアシステムの深化・推進」が図られているが、2025年までに構築するとされている地域包括ケアシステムの現状について問うものである。また、地域包括ケアシステムにおいて中核的な役割を担う地域包括支援センターの活動について問うものである。

○ 永 田 秀 人 (20分)

【一問一答方式 (2回目から)】

1 公文書管理について

2011年4月に公文書管理法が制定されて以降、公文書の管理についての条例制定や公文書館の設置などの取り組みが都道府県・市町村に広がっている。しかし、佐世保市では条例制定はなされておらず、文書に関する規定は佐世保市文書規程があるのみである。

一方、市立図書館の郷土資料室には旧海軍関係の資料なども保管されており、研究者の利用も多いと聞くが、これは行政文書の歴史的資料価値のあらわれとも言える。また、合併前の各自治体の公文書についても、その中の歴史的公文書を保存する必要がある。

先進事例も参考にしながら公文書管理の取り組みを推進すべきではないか。

2 債権管理の強化に関する取り組みについて

現在、市は未収債権の徴収強化のために債権管理対策室を設けて取り組みを進めている。これは必要な取り組みと考えるが、滞納者の中の生活困窮者等については配慮が必要と考える。その面で市の対応について質問する。

○ 滋賀県野洲市では、債務者が著しい生活困窮状態にある場合に債権の放棄などの対応ができるよう条例で定めている。本市でも類似の対応は考えられないか。

○ 多重債務者等への対応として、伊万里市ではファイナンシャルプランナーによる生活再建支援を行っており、これにより税の納付額に改善が見られたという。本市でも滞納の再発防止、滞納者の生活向上の両面から対応を考えるべきではないか。

3 陸上自衛隊相浦駐屯地記念式典に関する爆音問題について

本年4月19日、相浦地区上空を航空自衛隊のF2戦闘機が飛行した。その爆音は周辺住民を動揺させただけでなく、安全も脅かす面があった。同月28日の記念式典では、飛行高度を上げるなどの対応がなされたものの、事前の陸上自衛隊・九州防衛局の周知等は十分とは言えないと考える。

市として今回の問題にはどのように対応したのか。

また、今後の運用について、陸上自衛隊や九州防衛局にどのような対応を求めていくのか。

○ 久野秀敏 (30分)

【一括方式】

1 ユネスコ創造都市ネットワークへの加盟について

ユネスコは、グローバル化の進展により固有文化の消失が危惧される中で、文化の多様性を保持するとともに、世界各地の文化産業が潜在的に有している可能性を、都市間の戦略的連携により最大限に発揮させる仕組みが必要であるとして、「ユネスコ創造都市ネットワーク事業」において、七つの分野で特徴のある都市を認定している。

- 加盟認定に向けた取り組みについて
- 加盟認定された場合の効果について

2 交流人口拡大に向けた取り組みについて

- 大型客船の拠点整備に伴う貸切バスの需要、供給体制について
- 大型客船寄港による経済波及効果の分析状況について
- ランドオペレーターの現状について
- 市内で開催されるイベントへの助成制度について

3 地域コミュニティ組織等への支援について

- 佐世保市市民活動保険制度の給付内容の拡充について
- 認知症患者の賠償責任保険について
- 町内集会所施設が火災被害を受けた場合の支援措置について
- 佐世保刑務所周辺町内会への支援について

○ 久 保 葉 人 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 老人クラブの支援について

- 人生100年時代の現代においては、一人一人が自立的に生き生きと活動できるような基盤を構築することが肝要である。高齢者の自立的な活動の場である老人クラブに対する本市の支援を問う。

2 旧東商高校跡地を活用した早岐のまちづくりについて

- 早岐地区の今後の開発において、重要な拠点の一つとなる旧東商高校跡地を活用した、早岐のまちづくりについて本市の考えを問う。

3 急傾斜地崩壊対策事業の促進について

- 本市には斜面地が多く、毎年降雨期には、崖崩れが発生し、多くの家屋等が被害を受けている。市民からの期待の厚い「急傾斜地崩壊対策事業」の促進について本市の考えを問う。

4 空き家対策事業について

- 本市には、数多くの、放置されて老朽化した空き家が存在するが、空き家は多くのリスクを抱え、今や市民の暮らしの脅威になっている。本市の「空き家対策事業」と今後の方針を問う。